

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	キッズサポートEpers			公表日	令和8年3月16日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	7	0	事前に対象児を評価し、発達段階や課題に見合った内容の教材や支援ツールの提供や提案をおこなわせていただきました。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・訪問支援員が他事業（児童発達支援・放課後等デイサービス）を兼務しており、訪問する時期のご希望に添えないこともありました。	限られた人員のなかでも分業制を設けるとともに、保護者の要望と訪問先の職員との事前会議を通して、必要性を判断し、必要な期間や回数を決定していくようにします。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	週に1回以上のミーティングと、職員間の連絡ノートやICTツールの活用でPDCAサイクルを常に行うよう努めております。	全職員が同タイミングに顔を見合わせるの情報共有や打ち合わせをすることができると、より支援の向上に繋がると思われるので、今後そういった取り組みができるよう、計画をしております。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	率直なご意見などいただき大変ありがたく受け取らせていただきました。今後の業務改善に繋げさせていただきます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	職員間の日々のコミュニケーション、情報共有、管理者との面談を定期的に行い、風通しの職場環境につくり、業務の改善に繋げるよう努めております。	全職員が同タイミングに顔を見合わせるの情報共有や打ち合わせをすることができると、より支援の向上に繋がると思われるので、今後そういった取り組みができるよう、計画をしております。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	今年度外部の方に評価いただく機会はありませんでした。	今後外部の方による評価をいただく機会を設け、評価いただいたことは真摯に受け止め業務改善につなげていきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	月に2回以上の研修機会を設けております。また職員それぞれのスキルアップのために積極的に外部研修への参加を促しております。	全職員に研修の機会が設けられるよう、計画していきます。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	7	0	児童発達支援管理者を中心とし、職員全員で一人一人のお子様のアセスメントや課題分析を行い、支援計画に盛り込ませていただいております。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員全員で一人一人のお子様に対しての支援会議や事例検討会をおこない支援内容を検討しております。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	7	0	訪問前に必ず訪問先の責任者と担当者の方との会議を設けさせていただき、お子様の状況の共有と訪問先様の意向を伺わせていただいております。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	支援計画は必ず支援会議に基づき作成され、いつでも職員全員が確認できるようにしております。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	アセスメントや行動分析の際は、支援者個人の主観で行われることのないよう、共通のアセスメントシートを使用し、また全員で確認しあう会議を設けるようにしております。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	訪問支援計画は、保育所等訪問支援ガイドラインに基づき作成しております。	
	14	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	支援終了後には、お子様個々の状況を連絡ノートなどに記入し職員全員で共有するようにしております。	職員の出勤時間の時間差があり、全職員が同じタイミングで情報を共有することが難しいことがあります。全職員で動きや視点の持ち方などの振り返りが出来るよう努めてまいります。
	15	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	7	0	訪問前に必ず訪問先の責任者と担当者の方との会議を設けさせていただき、お子様の状況の共有と訪問先様の意向を伺わせていただいております。	
	16	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	7	0	支援ごとの記録、また訪問先・保護者・他の党相談員宛の報告書も作成するとともに、支援の検証や改善にあたっております。	
17	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6か月ごとにモニタリングをおこない、支援計画の見直しを行っておりますが、6か月にこだわらず必要に応じてモニタリング・支援計画の見直しを行っております。		
18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	各相談支援事業所様のお声がかけて適宜サービス担当者会議をおこなうことができたと思います。お子様の状況や成長を適切にお伝えができるよう、直接支援に携わる職員の参加なども積極的に行っております。		

関係機関や保護者との連携	19	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	地域の保育所様など協力体制を築いてくださり、情報交換や連携を図らせていただいております。地域で育つお子様1人ひとり、地域連携を密にしながら支援をおこなっていただければと思います。	
	20	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	エバースには保育園等と併用利用されているお子様も多く、連携会議やお互いの訪問などを通じ、支援内容等の情報共有と相互理解を図らせていただいております。	
	21	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	2	外部研修会への参加に加え、必要に応じて基幹相談支援センターの方に助言を仰ぐなどしております。	
	22	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	3		
	23	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	支援ごとの記録、また訪問先・保護者・他の党相談員宛の報告書も作成するとともに、支援の検証や改善にあたっております。	
	24	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	今年度はペアレントトレーニングの講義(全6回)を実施させていただきました。	より多くの方にご参加いただけるよう、実施回数や時期などを工夫していきます。
保護者等への説明等	25	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時にはわかりやすく説明するよう心がけております。また不明点はその都度ご質問いただき、速やかにお答えするようにしております。	
	26	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	7	0	訪問前に必ず訪問先の責任者と担当者の方との会議を設けさせていただき、お子様の状況の共有と訪問先様の意向を伺わせていただいております。	
	27	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	保護者様へのカウンセリングやモニタリングを通して、ご意向を伺い、支援計画に記載させていただいております。	
	28	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	7	0	訪問前に必ず訪問先の責任者と担当者の方との会議を設けさせていただき、お子様の状況の共有と訪問先様の意向を伺わせていただいております。	
	29	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7	0	6か月ごとのモニタリング時に加え、随時お声がけし面談やお電話等で話しする機会を設けております。保護者様からも気軽に相談していただきやすい関係構築に努めてまいります。	
	30	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	ご家族様やきょうだい同士で交流する機会やイベントをおこなう多くの方のご参加いただくことができました。さらにご家族様同士の交流を図れる機会、また皆様に参加しやすいようなイベント開催を設けていきたいと思っております。	
	31	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し契約時に説明しています。	
	32	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	活動の様子等はHPやSNS、また個々の連絡システム『HUG』やLINEにてお知らせしております。今後も保護者様が知りたい情報が適切に配信されるよう努めてまいります。	
	33	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報が含まれた書類は鍵付き書庫に収め、情報漏洩防止に留意しております。お子様・保護者様が安心してご利用いただけるよう、今後も個人情報の取り扱いには十分留意してまいります。	
	34	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	お子様・保護者様それぞれが好ましい伝達方法を選択できるよう、また情報を得やすいよう工夫しております。	
訪問先施設への説明等	35	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6	1	訪問先様へのヒヤリングも機会を設けて行ってきましたが、お互いの都合もあり、回数は限られてしまいました。	計画的に適切なヒヤリングをおこなえるようにしていきます。
	36	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6	1	支援実施後に改めて時間を設け、カンファレンスをおこなわせていただきました。	
	37	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	7	0	支援ごとの記録、また訪問先・保護者・他の党相談員宛の報告書も作成し、報告させていた抱くとともに次の課題の把握や共有をおこなっております。	
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報が含まれた書類は鍵付き書庫に収め、情報漏洩防止に留意しております。お子様・保護者様が安心してご利用いただけるよう、今後も個人情報の取り扱いには十分留意してまいります。	
	39	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	7	0	信頼関係の構築には最大限の配慮をさせていただきます。	

非常時等の対応	40	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	事故、災害、感染症などのマニュアルについて会議にて対応方法などの確認を行ったり、安全計画の中で研修や訓練を計画し実施しています。保護者様への周知・発信も滞りなく行っていきたいと思います。	
	41	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画に基づき、研修や訓練、また月に1回以上の点検を行い安全管理には留意しております。今後も随時計画の見直しを行いながら、安全管理を徹底してまいります。	
	42	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	些細なことでも『ヒヤリ』したことは報告書を作成しております。職員間で共有し、対策を検討し、未然の事故防止に努めております。	
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止委員会を設置し、研修や事例をあげて検討会を設けております。	
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		